



動作動詞の中英対照研究：
"擦"・"抹"とその対応英語表現

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-06-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮畑, 一範 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00002763

動作動詞の中英対照研究

— “擦”・“抹” とその対応英語表現 — *

宮 畑 一 範

<kazm@lc.osakafu-u.ac.jp>

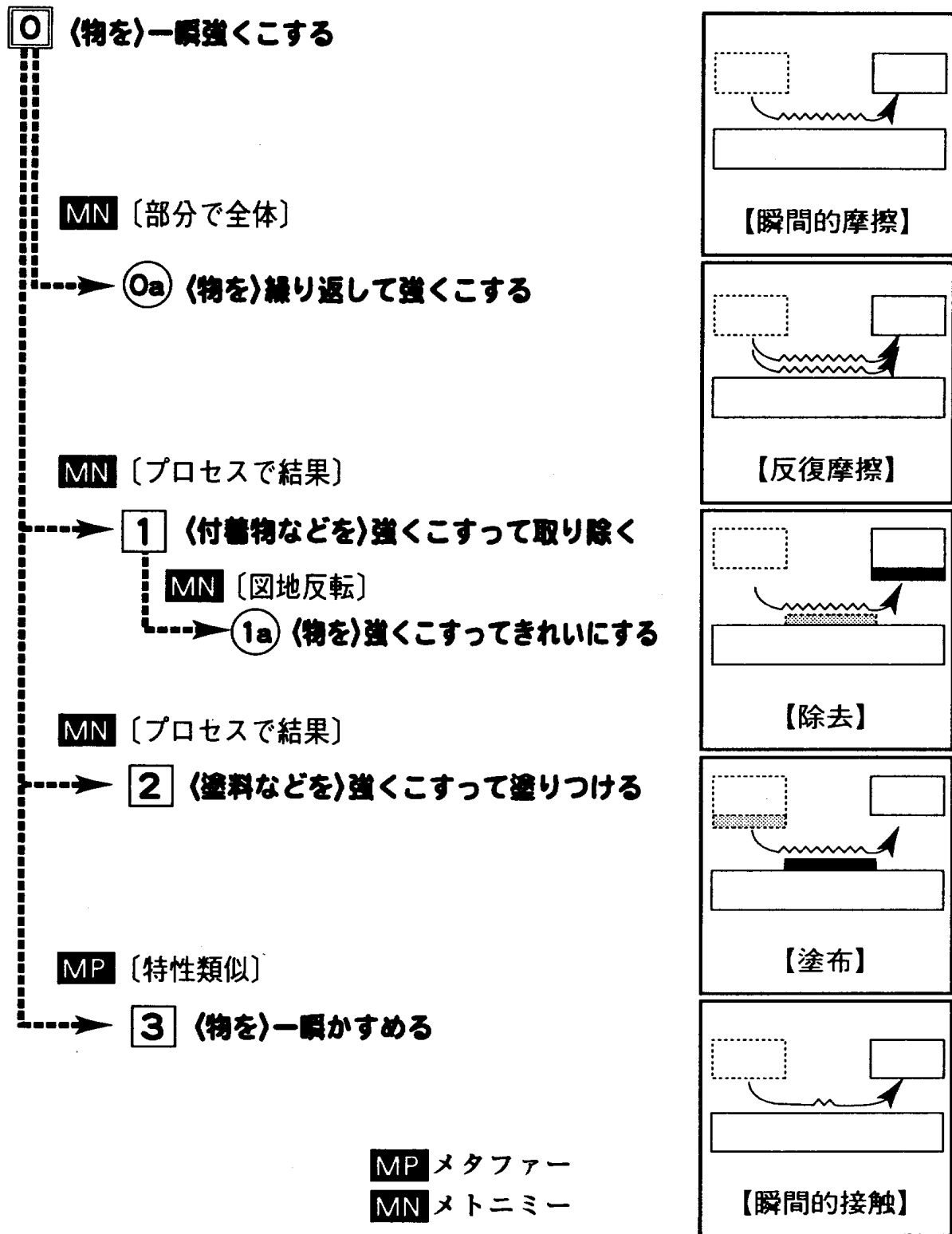
0. 本論では、中国語動作動詞研究会（2004）の“擦”と“抹”の分析に基づき、中英対照の観点から、接触（摩擦）及びそれを伴う除去・塗布を表すという点で最も関連性が強い RUB と比較しながら、類似点と相違点とを明らかにし、カバーする意味領域の違い及びそれが何に起因するのかについて考察を行う。まず、中国語動作動詞研究会（2004）の成果を踏まえつつ、認知的な観点を加味して、“擦”と“抹”のそれぞれの意義及び意義間のつながりについて整理する。次いで、RUB の多義構造を主要意義のスキーマと共に提示し、その全体像を概観する。その上で、中国語動作動詞研究会（2004）で挙げられている用例を手がかりに、その対応する英語表現の可能性を探ると同時に、RUB を中心に、対応英語表現と共通する着目点と異なる着目点について検討する。最後にまとめとして、“擦”・“抹”とその対応英語表現に関して、RUB との対応を中心に、中英対照の観点から総括する。

1. “擦”と“抹”の多義構造

1.1. “擦”の多義構造

“擦”の中心義 **㊦** は、「<物を>一瞬強くこする」で、瞬間的に強い摩擦を伴って接触することを特徴とする。この動作を反復して行くと、意義 **㊦a** 「<物を>繰り返して強くこする」になる。中心義は、その動作

* 本論の作成に当たっては、中国語動作動詞研究会（2004）の成果、並びに様々な段階における意見やアドバイスなどの点で全面的にバックアップして頂き、このプロジェクト参加メンバーの方々の御厚意に心より感謝したい。また、対応英語表現に関しては、筆者の旧友である Arturo Guajardo 氏よりインフォーマントとして多くの貴重な助言やコメントを頂戴した。この場を借りて深く御礼申し上げたい。

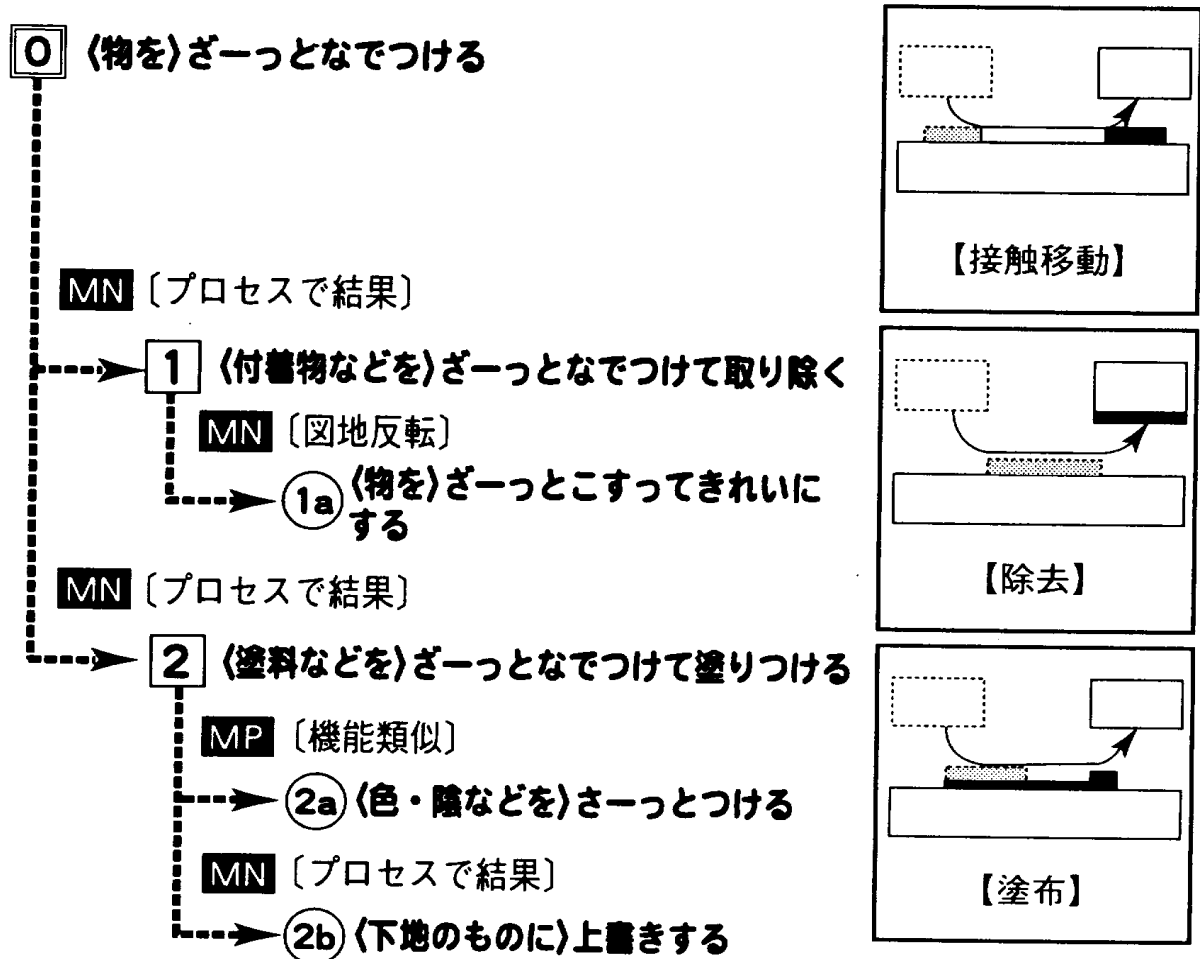


【図1】 “擦” の多義構造と主要意義のスキーマ

による結果に意識をスライドさせて、除去を表す意義**1**「<付着物などを>強くこすって取り除く」と、塗布を表す意義**2**「<塗料などを>強くこすって塗りつける」とに展開する。前者は、付着物がついている土台となる物の方に焦点をずらして、「<物を>強くこすってきれいにする」の意も担う。これが意義**1a**である。中心義は、また、瞬間的な接触という特性を引き継いで、意義**3**「<物を>一瞬かすめる」にも拡張する。

1.2. “抹”の多義構造

“抹”の中心義**0**は、「<物を>ざーとなでつける」である。使用頻度としては少ないが、意義展開の要はここにある。結果に意識をス



【図2】 “抹”の多義構造と主要意義のスキーマ

ライドさせて、除去を表す意義①「<付着物などを>ざーとなでつけて取り除く」と、塗布を表す意義②「<塗料などを>ざーとなでつけて塗りつける」とに展開する。意義①から、付着物がついている土台となる物の方に焦点をずらして、意義①a「<物を>ざーとこすってきれいにする」にも意義が広がる。これらの展開のパターンは“擦”と同様であるが、“擦”とは違い、除去の場合にせよ、塗布の場合にせよ、“抹”では雑な感じを伴う。意義②はさらに、機能面の類似性に着目して意義②a「<色・陰などを>さーとつける」、結果に焦点を当てて意義②b「<下地のものに>上書きする」にも拡張する。

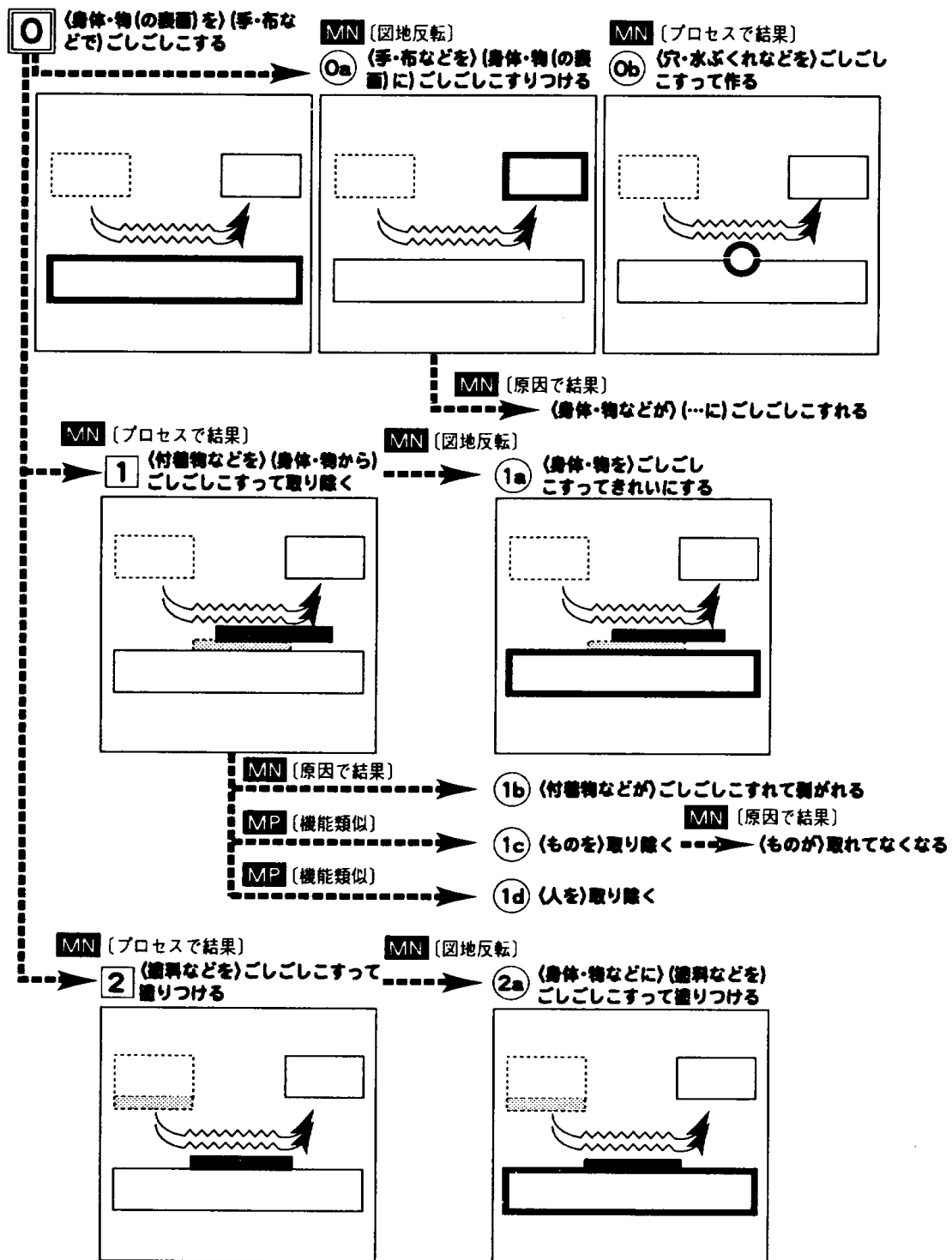
2. RUB の多義構造¹⁾

RUB の中心義①は、「<身体・物(の表面)を>(手・布などで)ごしごしこする」(例：He rubbed his chin with his hand.)である。強い摩擦と反復性を特徴とする。意識を手・布などの方にずらして、意義①a「<手・布などを>(身体・物(の表面)に)ごしごしこすりつける」(例：She rubbed her fingers along the lighter.)に展開し、さらに結果的な「<身体・物などが>(…に)ごしごしこすれる」(例：The boots rubbed against my feet.)に意味が広がる。ごしごしこすった結果、身体・物の表面にできる穴・水ぶくれなどに意識をずらすと、意義①b「<穴・水ぶくれなどを>ごしごしこすって作る」(例：I have rubbed a hole in the elbow of my jacket.)が派生する。²⁾

中心義から、その動作の結果に焦点をシフトして、除去を表す意義②「<付着物などを>(身体・物から)ごしごしこすって取り除く」(例：I rubbed dirt off my body with a towel.)と、塗布を表す意義③「<塗料などを>ごしごしこすって塗りつける」(例：He rubbed liniment over his

¹⁾ 意義展開は、瀬戸 他(編)(2007)に基づき、宮畑(2005)の考察を踏まえて、一部独自見解を含めて改変したものである。

²⁾ [図3]のスキーマつきネットワーク図では、紙幅の都合で、意義①aの横に並べる形になっているが、意義①bは、中心義からの展開。



【図3】 RUB の多義構造と主要意義のスキーマ

chest.) にそれぞれ拡張する。いずれの意義も、付着物などがついている、あるいは、塗料などを塗りつける土台となる物の方に意識をずらして、それぞれ意義①a「<身体・物を>ごしごしこすってきれいにする」(例: He rubbed the glasses clean (of spots) with a cloth.), 意義②a「<身体・物などに>(塗料などを)ごしごしこすって塗りつける」(例: She rubbed her face with ointment.) に展開する。³⁾

意義①からは、結果的な意義①b「<付着物などが>ごしごしこすれて剥がれる」(例: The blue color will not rub off on your deck paint.) に意味が広がる。意義①c「<ものを>取り除く」(例: She rubbed the sleep out of her eyes.) と「<ものが>取れてなくなる」(例: The happy atmosphere must have rubbed off on him.) は、この①と①bの関係がそのままメタファー展開したものである。さらに、取り除く作用の類似性から、意義①d「<人を>取り除く」(殺す)⁴⁾(例: Those assassins rubbed out the guy in a busy street.) にも拡張する。

3. “擦”とその対応英語表現

3.1. “擦”【瞬間的摩擦】の対応英語表現

瞬間的摩擦を表す“擦”は、可動物体が固定平面に強い摩擦を伴って勢いよく接触することを表す。一過的であるので、反復を表す RUB とは対応しない。そのため、問題となる状況を描写するのに適した別の動詞が選択されることになる。

那辆车硬擦着我的后视镜冲出去了(その車は私の車のサイドミラーを強くこすつ(て走り去つ)た)は、動く「その車」が、止まっている「私の車のサイドミラー」を一瞬強くこすった様を描写する。これは、

³⁾ “擦”・“抹”の場合はいずれも、除去の意味では付着物からそれがついている土台となる物に凶地反転した意義に広がるが、塗布の意味では塗料などからそれを塗りつける土台となる物に焦点をシフトさせた意義への拡張は観察されない。(→1.1., 1.2.)

⁴⁾ おもに、アメリカ英語で使われる意義。

The car scraped (against) the rearview mirror of my car (and drove away).
 のように、SCRAPE が選択される。擦って傷つける、という点に着目した動詞である。その他、軽度の接触という側面に力点を置いて BUMP や TAP, 移動中の接触という点に重きを置いて GRAZE や SIDESWIPE なども、この状況を描写するのに使いうる動詞である。ふつう、何度も繰り返して接触することはないので、RUB では不自然である (?? rub (against) the rearview mirror)。

膝蓋擦出了血 (膝が擦り剥けて血が出ている) は、可動物体である「膝」が固定平面である地面に一瞬強く接触して表皮が剥けてしまう様を表す。英語では、上例と同じく、SCRAPE や GRAZE が候補になり、Your knee is scraped [grazed] (and bleeding). と表現できる。⁵⁾ また、SKIN を動詞として使い、Your knee is skinned. と描写できる。⁶⁾ 一過的ではなく、何度か繰り返し擦れた結果として擦り剥ける場合であれば、The skin on your knee is rubbed raw. と RUB を使うことも可能である。

擦火柴 (マッチを擦る) は、マッチ (の頭) を着火用サンドペーパーに一瞬強くこすりつける動作を表す。厳密には、可動物体を目的語に取っているので、「<物を>一瞬強くこする」(この「物」は固定平面) に対しては、[図地反転] の関係になる意義 (<可動物体を> (固定平面に) 一瞬強くこすりつける) である。英語では、「一瞬強く直線的に打ちつける」点に着目して、STRIKE が最も相応しい表現となる (strike a match)。IGNITE/LIGHT も英語として自然である (ignite [light] a match) が、着火行為に意識が向けられ、「マッチ (の頭) を一瞬強くこすりつける」という描写は希薄になる。RUB では、マッチを指先な

⁵⁾ 同じ動詞が使われるが、上例の「<場所を>こする」に対して、[図地反転] により「<物を> (場所に) こすりつける」に展開した意義での対応となる。

⁶⁾ SKIN の動詞義は、この「<身体の>皮膚を擦り剥く」の他に、「<傷などを>皮膚でおおう」(例: The wound was skinned over.) も表す。一見相反する意味のように思えるが、名詞義の「皮膚」とどのように関わるプロセスかが異なるだけである。前者は、「皮膚」を対象としたプロセス、後者は「皮膚」を結果物としたプロセスの意味を担っている。

どで反復してこする動作を表すため、ふつう意味をなさない (?? rub a match)。

3.2. “擦”【反復摩擦】の対応英語表現

反復摩擦を表す“擦”は、対象物を繰り返し強く摩擦することを表す。この意味は、まさに RUB の中心義と合致し、RUB によって過不足なく描写される。(両手互搓,) 把两手掌擦热 (両手を擦って温める) は、rub [chafe] one's hands (together) to warm them up と表現できる。それほど強くは擦らない場合であれば、MASSAGE での対応も可能である。狠狠地擦脸颊 (頬をごしごし擦る) も、rub one's cheek と RUB で表現できる。

3.3. “擦”【除去】の対応英語表現

除去を表す“擦”は、厳密には“擦”が一過的で RUB は反復的という相違はあるものの、摩擦と機能的な面での合致を優先すれば、基本的には RUB で対応が可能である。付着物などを対象とした意義から、それがついている土台に焦点をシフトさせた意義への展開も、平行関係をなす。

擦汗 (汗を拭く) に対して、擦额头 (額をぬぐう) は、いずれも RUB で、それぞれ rub sweat off one's forehead, rub one's forehead (clean of sweat) と表現できる。但し、この「汗」の場合、十分に英語としては自然であるものの RUB では力強さが含意されるため、WIPE の方がよりふつうに用いられる傾向にある。「汗」は、それほどの力を必要とせず、軽く拭き取ることができるからである。

同様に、擦灰尘 (埃を拭く) と擦桌子 (テーブルを拭く) も、それぞれ rub dust off the table, rub the table (clean of dust) と RUB で描写可能である。「汗」の場合と同じく、「埃」を取り除くのはさほど力を必要としないため、ふつう WIPE が選択されるが、力を込めて「ごしごし」と擦る場合は、RUB がぴたりと当てはまる。対象が、dirt や grime のように粘着質であれば、RUB との共起が一層自然なものとなる。力強

い除去を表すには、SCRUB も候補に挙がるが、これは、乾拭きではなく、水や洗剤などを使うことを含意するため、“擦”の対応表現としては、ずれが大きくなる。英語表現のバリエーションという観点で言うと、brush dust from the table, dust off the table のように、それぞれ、道具がプロセス化⁷⁾、対象がプロセス化した動詞による対応も可能である。

3.4. “擦”【塗布】の対応英語表現

塗布を表す“擦”も、除去の“擦”の場合と同じく、基本的には動作の様態に関しては一過的か繰り返しかという相違があるものの、機能面での対応を優先して、摩擦を伴うという特徴でも合致する RUB が第一候補となりうる。但し、“擦”は、RUB とは違って、「塗料など」から、それを塗りつける土台の方に焦点をシフトさせた意義への展開は見られない。また、塗布する物の種類によっては、強い摩擦を伴うのがふつうではないこともあり、その場合は RUB での対応が不自然となる。

擦白粉（おしろいを塗る）は rub powder on(to) the face と、擦防晒霜（日焼け止めクリームを塗る）は、pat [dab] on sun cream [lotion] に引き続いて行う行為として、rub sun cream [lotion] into the skin と描写が可能である。とりわけ、into との共起は、RUB の摩擦感の強さと連動し、皮膚に浸透させる（擦り込む）という力強い感じを伴う。

⁷⁾ 道具としてのbrush（日本語で言う「ブラシ」と「刷毛」の両方を指す）自体、2種類の機能を持つ（「ブラシ」は「汚れを落とす」、「刷毛」は「塗りつける」用途で用いられる）ため、[道具でプロセス]の意義展開パターンで拡張する動詞義も、「<場所に>ブラシをかけてきれいにする」（brush one's teeth）およびその〔図地反転〕した「<汚れなどを>ブラシをかけて取り除く」（brush crumbs from the table）と、「<場所に>（塗料などを）刷毛で塗る」（brush the painted wall with transparent glaze）およびその〔図地反転〕した「<塗料などを>刷毛で塗る」（brush melted butter over the surface of dough）の2系統ある。さらに、「<場所に>ブラシをかけてきれいにする」は、毛先で軽く払うように触れる特性を引き継いで、「<場所に>通り過ぎざまに軽く触れる」に展開する。この意義は、3.5. で取りあげる瞬間的接触の“擦”に対応する候補のひとつとなる。

擦紅薬水(赤チンを塗る)は、英語では apply [touch on] mercurochrome と描写するのがふつうで、RUB を用いると、その力強さ故に、傷や痛みを増加させるというニュアンスを伴う。⁸⁾

擦香水(香水を塗る)は、“擦”で表現されるものの、“白粉”“防晒霜”“紅薬水”の場合とは違って、具体的に摩擦を伴った動作を表していると言うよりも、「つける」という機能面に重点が移っている。実際の行為としては、英語での対応表現 spray on perfume や touch on perfume with the finger tips と同様、噴香水(香水を(スプレーで)しゅっと吹きつける)、点香水(香水を(指先などで)ちょんちょんとつける)などと言い表される。

3.5. “擦”【瞬間的接触】の対応英語表現

瞬間的接触の“擦”は、強い摩擦感を伴わない(意識しない)ため、RUB は候補として不適合となる。

擦边球(エッジボール)は、そのまま an edge ball であるが、説明すれば、a ball glancing off [grazing] the edge of the table となる。GLANCE, GRAZE 共に移動中のかすめるような(斜めに軽く当たる)接触を表す動詞である。

一只鸟由水面上擦过去(鳥が水面をかすめて飛んだ)は、The bird skimmed the surface. が最も的確にその状況を描写する。⁹⁾ FLIT も候補となりうるが、素早い通過に重点が置かれ、必ずしも実際に水面に接触していることは意味しない(接触しても、極めてわずかで一瞬、という感じ)。

⁸⁾ その意味で、rub salt into a wound はこのニュアンスに合致する表現であると言える。日本語でも「傷口に塩を塗る[擦り込む]」で同様の言い回し。中国語では、傷口に塩という組み合わせは同じであるものの、伤口上撒[洒]盐(傷口に塩をまく[振りかける])のように“撒”や“洒”で成句として定着している。

⁹⁾ SKIM は、「<液体(の表面)を>さっとすくう」(skim the surface of the soup with a spoon to remove the extra fat)が中心義で(液体表面の浮遊物を取り除くことを含意し、浮遊物に意識をずらした「<浮遊物を>(液体(の表面)から)さっとすくう」(skim the scum off the top)に転じる)、その時の動きとの類似性から「<物(の表面)を>さっとかすめて通る」に展開する。この意義が、瞬間的接触の“擦”と対応する。

固定フレーズの擦肩而过（すれ違う）は、英語としては、例えば、His shoulder brushed hers., He brushed past [by, against] her., 相互性に力点を置くと、The two persons [Their shoulders] brushed each other., They brushed past [by] each other. のようなバリエーションで表現可能である。RUB が使えるとすれば、その強い摩擦と反復性から、満員電車から降りようとしてドアに向かっている時の（押し合いへし合いもみ合っている）ような状況に限られる（He rubbed against a lot of people in the crowd.）。

4. “抹” とその対応英語表現

4.1. “抹”【接触移動】の対応英語表現

接触移動を表す“抹”は、強い反復摩擦を伴わないため、RUB は候補とならず、問題となる動作によって、それぞれ目的や動きなどの異なる側面に着目し、様々な動詞が対応することになる。

抹开额前湿漉漉的头发（濡れた髪を掻き上げる[なでつける]）は、slick one's hair back (with the hands [a comb])によって描写できる。その他、push [brush, sweep] one's hair back (with the hands) が可能である。抹了抹乱头发（乱れた髪をちょっとなでつける）は、これらの動詞以外に、pat [touch up] one's tidy hair, arrange [straighten] one's tidy hair, smooth (back [down]) one's tidy hair などによって表現しうる。

抹平皱纹（皺を伸ばす）は、紙であれば smooth out the wrinkles in the paper, 布であれば iron the wrinkles out of the shirt などと表現できる。¹⁰⁾ 中国語ではこのメタファーに当たる抹平心灵的伤痕（心の傷をなでて平らにする）が可能であるが、英語では「(精神的な) 傷」を「皺」に見立てることは困難で、heal the (mental) wounds と「(身体的な) 傷」に見立てられる。¹¹⁾

¹⁰⁾ 英語の候補動詞は、いずれも、皺のついている土台（紙・布）の方に焦点をシフトした smooth out the paper, iron the shirt という使い方も可能。このパターンでは、PRESS も用いられる（press the shirt）。

¹¹⁾ 「痛みを持った心に鎮痛用香膏を擦り込む」という見立ては可能で、Through his quiet conversation he rubbed balm into her troubled heart. のようには表現できる。日本語では、「気分がくしゃくしゃする」は紙などがしわくちゃの状態の見立て、「心の傷を癒す」では身体的な傷の見立てである。

抹脖子(首を切る)は, slit [slash, slice] one's neck で対応可能である。“抹”そのものが表すのは, 首を横切るナイフの動きであり, この部分に力点を置いて描写すれば, draw [drag, pull] a knife across one's neck という候補も考えられる。スムーズに直線的に引く動きを表す動詞群である。

4.2. “抹”【除去】の対応英語表現

除去を表す“抹”は, 一般的な「拭く」を表す WIPE が第一候補となる。但し, 「ざーっと」という拭き残しがあるような雑なニュアンスを表すには別途 roughly のような副詞が必要となる。力強く繰り返す場合には, RUB が対応可能であるが, そうなると力がこもっている分, きれいにしようという意図がより感じ取れるため, “抹”との乖離が大きくなる。“擦”の場合と同じく, 付着物から, それがついている土台へ焦点をシフトした意味も担う。同じく, WIPE (または, RUB) が対応しうる。

抹眼泪[汗, 血, 泥巴, 灰尘] (涙[汗, 血, 泥, 埃]をざーっと拭く)は, wipe [rub] tears [sweat, blood, dirt, dust] roughly, 抹了一把眼睛(目をざーっと拭く)や抹了一把镜子(鏡をざーっと拭く)は, それぞれ wipe [rub] one's eyes roughly (dry), wipe [rub] the mirror roughly (clean)と描写することができる。

4.3. “抹”【塗布】の対応英語表現

塗布の“抹”は, 「擦りつける(擦り込む)」行為を繰り返す場合には, RUB での対応が可能であるが, 一部を除いて, 別動詞が対応するのがふつうである。

抹白粉(おしろいを塗る)や抹发油(ヘアオイルを塗りつける)は, その使い方から, rub powder on(to) the face や rub hair oil in (with the fingers)と, RUB で対応できる。しかしながら, “抹”が伴わない強い摩擦と繰り返しのニュアンスを避けるためには, apply や put on なども候補のひとつである。

抹口红（口红を塗る）の場合は、力強い繰り返しというのがふつうではないため、RUBを使うことは不自然で、apply [put on] lipstick や paint lipstick (on one's lips)などを用いる。後者では、とくに「色をつける」という側面に力点が置かれる。

抹果醬（ジャムを塗る）や抹糝糊（糊を塗る）の場合、「(塗り) 広げる」という側面に着目して、SPREADが選択されるのが一般的である (spread jam [glue [paste]])。「糊をつける」は、dab glue [paste] や dribble glue [paste]などでも言い表されるが、前者は点々とつける様、後者は（とくに液体タイプの）糊を滴らせて [滴らせるように] つける様に力点に移り、“抹”が表す意味からは遠ざかる。

这件事在他的心里抹上了一道暗淡的阴影（その事件は彼の心に一筋の薄暗い陰を落とした）や这个情节给他的命运抹上了一层悲剧色彩（この経緯は彼の運命に悲劇的色彩を与えた）は、「<塗料などを> ざーっとなでつけて塗りつける」の機能面に着目したメタファー展開である。英語では、陰や色の見立ては共通するものの、「塗りつける」動作部分での見立ては対応せず、前者は The affair threw [drew] a dark cloud over his heart., 後者は The way it came about gave his fate [imparted his fate with] a tragic color. や The way it came about colored his fate tragically. のように表現される。

夕陽的斜晖浓浓地抹在玻璃窗上（夕日の残照がガラス窓を染め上げた）や白菜地里的白菜都被浓重的夜色抹黑了（夜の闇が畑の白菜を黒くぬりこめた）は、この図地反転した意義¹²⁾に当たる。英語では、「色をつける」という見立ては同様であるが、動詞の選択という点では独自の表現となる。前者は The sunset painted the windows in color. や The windows reflected the blaze of color from the setting sun., 後者は The darkening night dyed the cabbages in the field a murky purple. や The

¹²⁾ 具体的な塗布行為の意味では、塗料などが焦点化されるだけで、それが塗りつけられる土台となる物に焦点がシフトする意義展開は見られないが、抽象度が上がると、これらに対応する両者の反転現象が観察されるのは面白い。

darkening night put the cabbages in shadow. などが対応する。

「<塗料などを>ざーっとなでつけて塗りつける」は、結果に意識をシフト（すると同時に抽象度も増）して、「<下地のものに>上書きする」に意義展開する。抹掉名单上的名字(名簿の名前を線を引いて消す)は、英語では line out one's name from the list や cross out the name と表現することができる。「文字列に横線を引く」が基本の意味なので、上書き感も表せる。strike one's name from the list になると、削除する機能面に重点が移り、上書きのニュアンスは失われる。抹掉录音带上的声音(テープの録音を消す)は、メタファーを介して具体物として捉えられた音声に対する「上書き」を意味する。英語では、紙や黒板などに書かれた文字に対する作用に見立てて、erase a recording と言い表す。この点は、より抽象的な記憶に関しても同様で、抹去记忆(記憶を消し去る)は erase one's memory が対応する。wipe out も可能である。抹去零头(数字の端数を切り捨てる)は、英語では「端数」は「(邪魔な)出っ張り」に見立てられ、round the figures down と「丸くする」と捉えられる。

5. まとめ

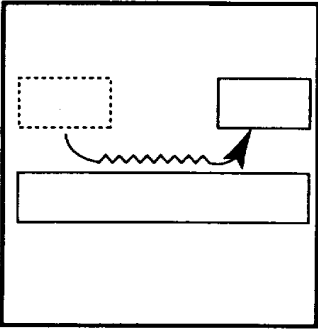
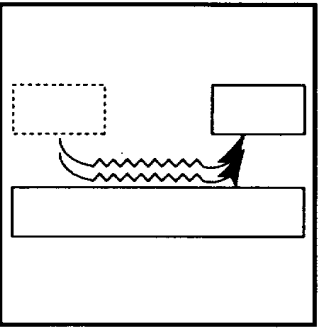
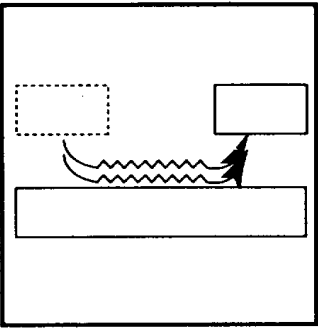
本論のまとめとして、最後に、“擦”・“抹”の各意義と主要スキーマを意義展開の順に掲げ、そのそれぞれに RUB の各意義及びスキーマがどのように対応するかを示すと同時に、“擦”・“抹”の各意義の代表例に対応する RUB を中心とした英語表現¹³⁾を一覧できる形で提示する。

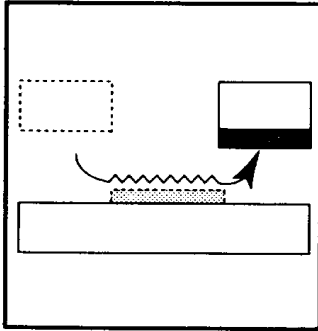
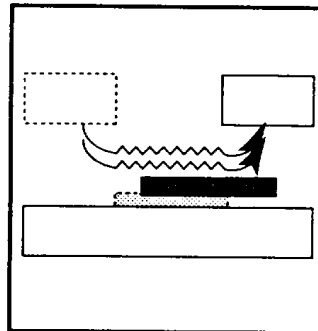
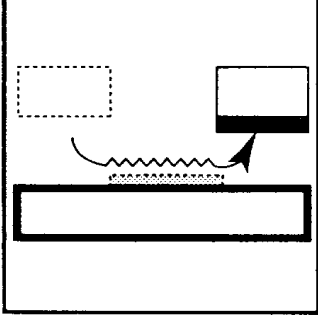
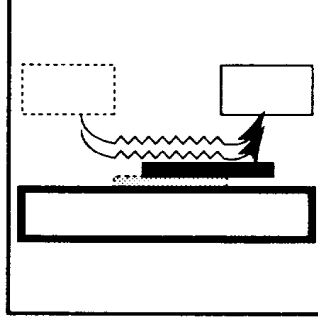
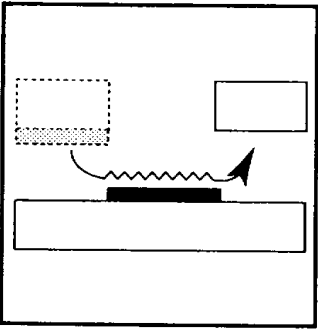
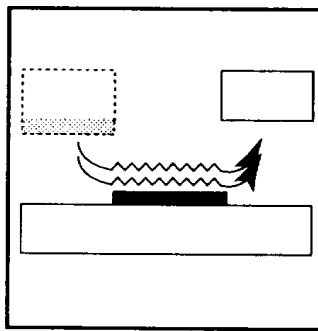
“擦”は、摩擦を伴った接触という点で、RUB と意味的に近似するが、一過的な動きが“擦”の中心義の特徴であるのに対して、RUB の方は繰り返しが意味に組み込まれており、厳密な意味で両者がびたりと対応するのは、“擦”が反復行為に展開した意義においてのみである。

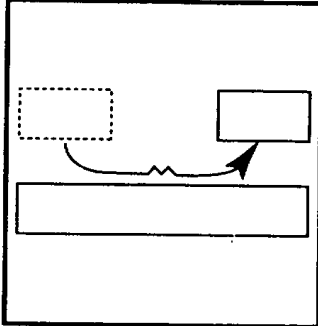
¹³⁾ 各ブロックで、インデントを施した表現は、原語の意味合いとのずれがあることを表す。

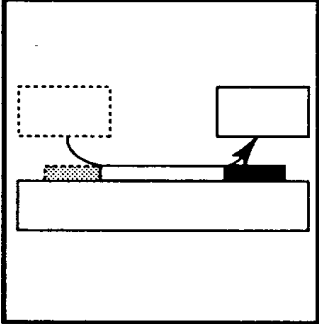
除去や塗布を表す場合も、強い摩擦を伴うという点で RUB が最も近い候補となるものの、意味的な対応はその機能面に力点に移り、基本動作の様態としては、“擦”の一過性に対して RUB は反復的であるという根本的なずれが残る。摩擦が“擦”と RUB を結びつける重要な要素となるので、この特徴を伴わない“擦”の意義には、RUB は対応しない。

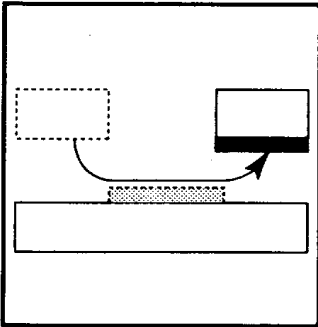
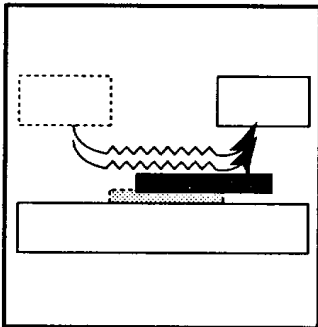
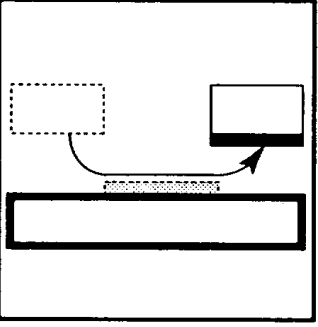
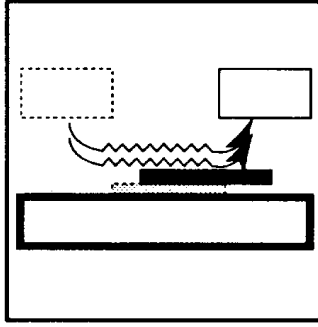
“抹”は、RUB の主要な特徴である摩擦も反復も伴わないため、全体を通じて、RUB との対応関係が希薄である。除去と塗布の意味に対応して、若干候補として姿を見せるが、機能面での対応のみである。

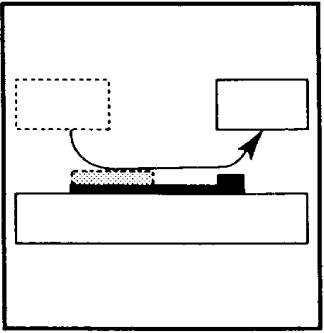
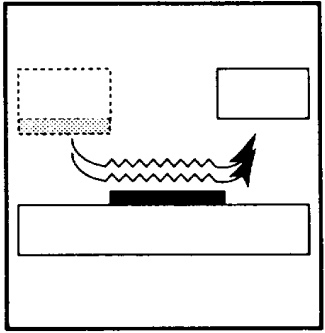
<p>擦【瞬間的摩擦】 <input type="checkbox"/> <物を>一瞬強くこする</p> 	<p>RUB 非対応</p>
<p>那辆车硬擦着我的后视镜冲出去了 (その車は私の車のサイドミラーを強くこすって走り去った)</p>	<p>The car scraped (against) the rearview mirror of my car (and drove away). bump/ tap graze/ sideswipe ?? rub (against) the rearview mirror</p>
<p>膝盖擦出了血 (膝が擦り剥けて血が出ている)</p>	<p>Your knee is scraped [grazed, skinned] (and bleeding). The skin on your knee is rubbed raw.</p>
<p>→メト【図地反転】</p>	<p>RUB 非対応</p>
<p>擦火柴 (マッチを擦る)</p>	<p>strike a match ignite [light] a match ?? rub a match</p>
<p>擦【反復摩擦】 <input checked="" type="checkbox"/> <物を>繰り返し強くこする</p> 	<p>RUB【反復摩擦】 <input checked="" type="checkbox"/> <身体・物(の表面)を>(手・布などで)ごしごしこする</p> 
<p>(两手互搓,) 把两手掌擦热 (両手を擦って温める)</p>	<p>rub [chafe] one's hands (together) to warm them up massage</p>
<p>狠狠地擦脸颊 (頬をごしごし擦る)</p>	<p>rub one's cheek</p>

<p>擦【除去】</p> <p>① <付着物などを> 強くこすって取り除く</p> 	<p>RUB《除去》</p> <p>① <付着物などを> (身体・物から)こ しこしこすって取 り除く</p> 
<p>擦汗 (汗を拭く)</p>	<p>rub [wipe] sweat off one's forehead</p>
<p>擦灰塵 (埃を拭く)</p>	<p>rub [wipe] dust off the table</p>
<p>擦【除去】</p> <p>①a <物を>強くこすつ てきれいにする</p> 	<p>RUB《除去》</p> <p>①a <身体・物を>こ しこしこすってき れいにする</p> 
<p>擦额头 (額をぬぐう)</p>	<p>rub [wipe] one's forehead (clean of sweat)</p>
<p>擦桌子 (テーブルを拭く)</p>	<p>rub [wipe] the table (clean of dust)</p>
<p>擦【塗布】</p> <p>② <塗料などを> 強くこすって 塗りつける</p> 	<p>RUB《塗布》</p> <p>② <塗料などを> こしこしこすつ て塗りつける</p> 
<p>擦白粉 (おしろいを塗る)</p>	<p>rub powder on(to) the face</p>
<p>擦防晒霜 (日焼け止めクリームを塗る)</p>	<p>rub sun cream [lotion] into the skin</p>
<p>擦紅薬水 (赤チンを塗る)</p>	<p>apply [touch on] mercurochrome</p>
<p>擦香水 (香水を塗る)</p>	<p>spray on perfume touch on perfume with the finger tips</p>

<p>擦【瞬間的接触】</p> <p>③ <物を>一瞬かすめる</p> 	<p>RUB 非対応</p>
<p>擦边球 (エッジボール)</p>	<p>an edge ball a ball glancing off [grazing] the edge of the table</p>
<p>一只鸟由水面上擦过去 (鳥が水面をかすめて飛んだ)</p>	<p>The bird skimmed the surface. The bird flitted just above the surface.</p>
<p>擦肩而过 (すれ違う)</p>	<p>His shoulder brushed hers. He brushed past [by, against] her. The two persons [Their shoulders] brushed each other. They brushed past [by] each other.</p>

<p>抹【接触移動】</p> <p>① <物を>ざーとなでつける</p> 	<p>RUB 非対応</p>
<p>抹开额前湿漉漉的头发 (濡れた髪を掻き上げる[なでつける])</p>	<p>slick one's hair back (with the hands [a comb]) push [brush, sweep] one's hair back (with the hands)</p>
<p>抹了抹乱头发 (乱れた髪をちょっとなでつける)</p>	<p>slick/ push/ brush/ sweep pat [touch up] one's tidy hair arrange [straighten] one's tidy hair smooth (back [down]) one's tidy hair</p>
<p>抹平皱纹 (皺を伸ばす)</p>	<p>smooth out the wrinkles in the paper smooth out the paper iron the wrinkles out of the shirt iron [press] the shirt</p>
<p>抹平心灵的伤痕 (心の傷をなでて平らにする)</p>	<p>heal the (mental) wounds</p>
<p>抹脖子 (首を切る)</p>	<p>slit [slash, slice] one's neck draw [drag, pull] a knife across one's neck</p>

<p>抹【除去】 1 <付着物などを> ざーつとなでつけ て取り除く</p> 	<p>RUB《除去》 1 <付着物などを> (身体・物から) ごしごしこすつて 取り除く 対応は機能部分のみ</p> 
<p>抹眼泪[汗, 血, 泥巴, 灰尘] (涙[汗, 血, 泥, 埃]をざーつと拭く)</p>	<p>wipe [rub] tears [sweat, blood, dirt, dust] roughly</p>
<p>抹【除去】 1a <物を>ざーつと こすつてきれい にする</p> 	<p>RUB《除去》 1a <身体・物を>ご しごしこすつてき れいにする 対応は機能部分のみ</p> 
<p>抹了一把眼睛 (目をざーつと拭く)</p>	<p>wipe [rub] one's eyes roughly (dry)</p>
<p>抹了一把镜子 (鏡をざーつと拭く)</p>	<p>wipe [rub] the mirror roughly (clean)</p>

<p>抹【塗布】</p> <p>2 <塗料などを> ざーつとなで つけて塗りつ ける</p> 	<p>RUB《塗布》</p> <p>2 <塗料などを> ごしごしこすつて 塗りつける</p> <p>対応は機能部分のみ</p> 
<p>抹白粉 (おしろいを塗る)</p>	<p>rub powder on(to) the face apply (face) powder put on make-up</p>
<p>抹发油 (ヘアオイルを塗りつける)</p>	<p>rub hair oil in (with the fingers)</p>
<p>抹口红 (口紅を塗る)</p>	<p>apply [put on] lipstick paint lipstick (on one's lips)</p>
<p>抹果酱 (ジャムを塗る)</p>	<p>spread (strawberry) jam</p>
<p>抹糊 (糊を塗る)</p>	<p>spread glue [paste] dab glue [paste] dribble (liquid types of) glue [paste]</p>
<p>2a <色・陰などを>さーつとつける</p>	<p>RUB 非対応</p>
<p>这件事在他的心里抹上了一道暗淡的阴影 (その事件は彼の心に一筋の薄暗い陰を 落とした)</p>	<p>The affair threw [drew] a dark cloud over his heart.</p>
<p>这个情节给他的命运抹上了一层悲剧色彩 (この経緯は彼の運命に悲劇的色彩を 与えた)</p>	<p>The way it came about gave his fate [imparted his fate with] a tragic color. The way it came about colored his fate tragically.</p>
<p>→メト [凶地反転]</p>	<p>RUB 非対応</p>
<p>夕陽的斜暉濃濃地抹在玻璃窗上(夕日の残 照がガラス窓を染め上げた)</p>	<p>The sunset painted the windows in color. The windows reflected the blaze of color from the setting sun.</p>
<p>白菜地里的白菜都被浓重的夜色抹黑了(夜 の闇が畑の白菜を黒くぬりこめた)</p>	<p>The darkening night dyed the cabbages in the field a murky purple. The darkening night put the cabbages in shadow.</p>

②b) <下地のものに>上書きする	RUB 非対応
抹掉名单上的名字(名簿の名前を線を引いて消す)	line out one's name from the list cross out the name strike one's name from the list
抹掉录音带上的声音(テープの録音を消す)	erase a recording
抹去记忆(記憶を消し去る)	erase [wipe out] one's memory
抹去零头(数字の端数を切り捨てる)	round the figures down

参 考 文 献

- 瀬戸賢一 他(編)(2007).『英語多義ネットワーク辞典』小学館.
- 中国語動作動詞研究会(2004).「中国語動作動詞の研究 擦・抹」『中国学志』(大阪市立大学中文学会) 臨号, pp. 67-98.
- 宮畑一範(2005).「除去・塗布系動詞の意味・用法の分析と記述」『英米言語文化研究』(大阪府立大学) No. 48, pp. 127-151.
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 编(2002).《现代汉语词典(汉英双语)(2002年增补本)》外语教学与研究出版社.